

平成 21 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベルーナ
 代表者名 代表取締役社長 安野 清
 (コード番号 9997 東証第 1 部)
 問合せ先 管 理 本 部 長 須藤 滋
 (TEL. 048-771-7753)

(訂正・数値データ修正あり)

「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

平成 21 年 2 月 2 日に発表いたしました「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の記載内容につき、オプション評価益の処理に一部訂正すべき事項がございましたのでお知らせいたします。

記

[訂正箇所]

訂正箇所には下線を付しております。

・ 1 ページ

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

<訂正前>

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 3 四半期	85,798	—	6,030	—	<u>4,324</u>	—	313	—
20 年 3 月期第 3 四半期	95,541	1.1	9,502	△5.2	9,409	△8.4	5,232	△11.4

<訂正後>

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 3 四半期	85,798	—	6,030	—	<u>3,339</u>	—	313	—
20 年 3 月期第 3 四半期	95,541	1.1	9,502	△5.2	9,409	△8.4	5,232	△11.4

・ 2 ページ

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

<訂正前>

(省 略)

また、経常利益では営業外でオプション評価益を 568 百万円計上した一方で、韓国のベルネット クレジット カンパニー リミテッドでのウォン安等により為替差損が 2,048 百万円計上され、前年同期比 54.0%減の 4,324 百万円となりました。四半期純利益では投資有価証券評価損 1,405 百万円及びデリバティブ（スワップ）解約損 1,551 百万円を特別損失に計上したことにより、前年同期比 94.0%減の 313 百万円となりました。

<訂正後>

(省 略)

また、経常利益では韓国のベルネット クレジット カンパニー リミテッドでのウォン安等により為替差損が 2,048 百万円、オプション評価損を 403 百万円計上され、前年同期比 64.5%減の 3,339 百万円となりました。四半期純利益では投資有価証券評価損 1,405 百万円及びデリバティブ（スワップ）解約損 566 百万円を特別損失に計上したことにより、前年同期比 94.0%減の 313 百万円となりました。

・ 7 ページ

5. 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

<訂正前>

(単位：百万円)

		当第3四半期連結累計期間
		(自 平成20年4月1日
		至 平成20年12月31日)
(省 略)		
営業外収益		
オプション評価益		568
その他		599
営業外収益合計		1,168
営業外費用		
為替差損		2,048
その他		826
営業外費用合計		2,874
経常利益		4,324
特別利益		
償却債権取立益		32
特別利益合計		32
特別損失		
投資有価証券評価損		1,405
デリバティブ解約損		1,551
その他		153
特別損失合計		3,111
税金等調整前四半期純利益		1,245
(省 略)		

<訂正後>

(単位：百万円)

		当第3四半期連結累計期間
		(自 平成20年4月1日
		至 平成20年12月31日)
(省 略)		
営業外収益		
受取利息		119
その他		468
営業外収益合計		587
営業外費用		
為替差損		2,048
オプション評価損		403
その他		825
営業外費用合計		3,278
経常利益		3,339
特別利益		
償却債権取立益		32
特別利益合計		32
特別損失		
投資有価証券評価損		1,405
デリバティブ解約損		566
その他		153
特別損失合計		2,126
税金等調整前四半期純利益		1,245
(省 略)		

・ 8 ページ

5. 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
(省 略)	
オプション評価損益 (△は益)	<u>△568</u>
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	1,723
デリバティブ解約損益 (△は益)	<u>1,551</u>
売上債権の増減額 (△は増加)	552
営業貸付金の増減額 (△は増加)	8,060
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,351
販売用不動産の増減額 (△は増加)	349
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,724
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△571
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	225
その他	<u>2,151</u>
小計	<u>16,744</u>
(省 略)	

<訂正後>

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
(省 略)	
オプション評価損益 (△は益)	<u>403</u>
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	1,723
デリバティブ解約損益 (△は益)	<u>566</u>
売上債権の増減額 (△は増加)	552
営業貸付金の増減額 (△は増加)	8,060
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,351
販売用不動産の増減額 (△は増加)	349
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,724
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△571
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	225
その他	<u>2,163</u>
小計	<u>16,744</u>
(省 略)	

以 上